

都市計画道路沼津南一色線設計競技の概要

株式会社エイト日本技術開発 正会員 ○中谷 武弘
 同上 家久 冬萌

はじめに

2019年度に沼津市により「都市計画道路沼津南一色線設計競技」が実施された。これは、「土木設計競技ガイドライン：土木学会（平成30年10月）」に基づく2番目の、かつ、トンネルと橋梁を対象とした初めての設計競技である。この初めての試みの背景には、地域の価値ある古墳の保存と都市計画道路整備の両立という難しい課題があった。最優秀には、(株)エイト日本技術開発と(株)イー・エー・ユーとの設計共同体、および協力者二井昭佳国土舘大学教授、文化財保存計画協会からなるチームが選ばれたが、ここでは、設計競技の前提条件など等の概要を報告する。

1. 設計競技の概要

募集要項に記載された設計競技の趣旨を以下に抜粋する。

- ①本路線は、沼津市の中心市街地と国道1号、国道246号、東名高速道路などをつなぐ主要路線であり、整備により地域の慢性的な渋滞解消と地域内道路の安全性向上が期待できる。
- ②道路事業着手後、用地内に考古学上きわめて価値の高い高尾山古墳が発見された。
- ③また、周辺には東熊堂穂見神社、熊野神社があり、地域の伝統行事として毎年祭典が行われている。
- ④道路と古墳の両立を図るため、北進は古墳墳丘下のトンネルで、南進は古墳上空の橋梁で古墳の毀損を最小限に納める道路整備計画が決定された。

これらを踏まえて、幅広いアイデアと優れたデザインを求める「設計競技方式」の実施に至った。提案の対象範囲を図-1に示す

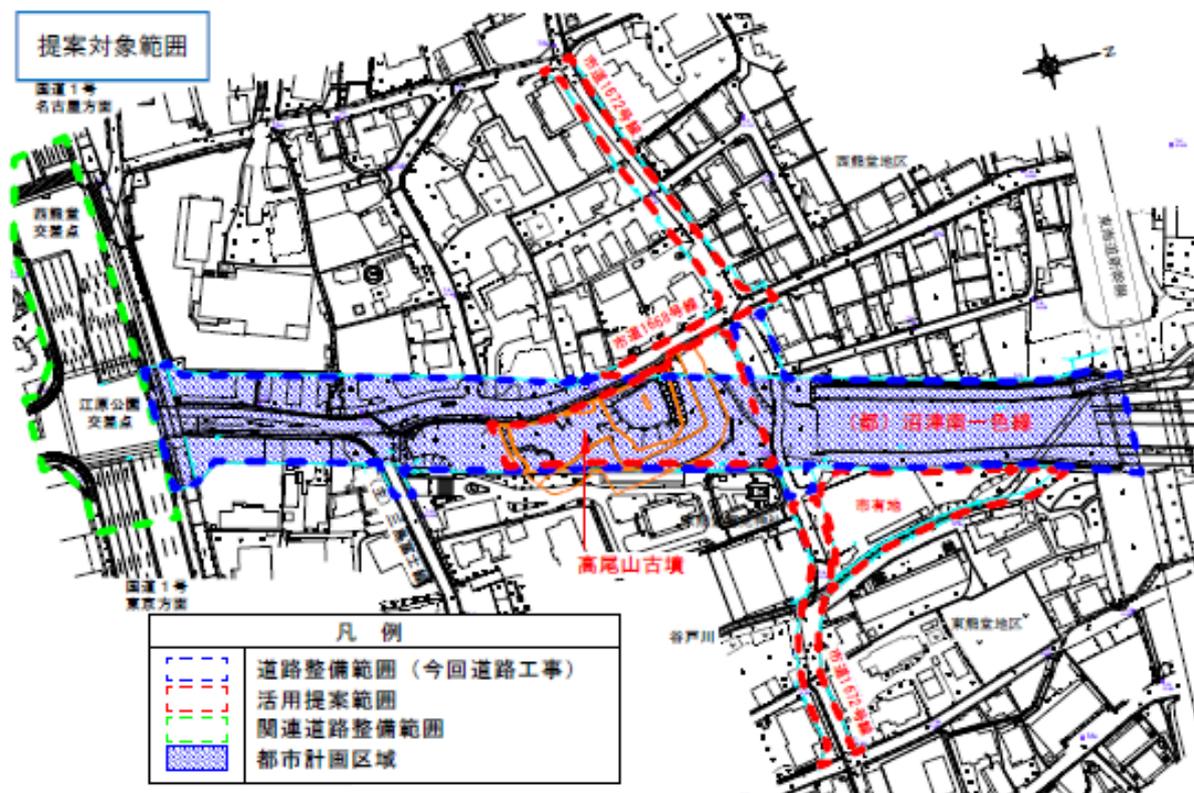


図-1 提案の対象範囲

キーワード 設計競技、古墳、空間整備、景観形成

連絡先 〒164-8601 東京都中野区本町5丁目33番11号 株式会社エイト日本技術開発 TEL 03-5341-5144

2. 提案を求める内容とスケジュール

募集要項に記載された求められる提案内容とスケジュールは、以下のとおりである。

- ① 橋梁・トンネル、道路附属物等の道路デザイン（図-1：青点線内）
- ② 古墳の保存・利活用の考え方及び整備方法（図-1：赤点線内）
- ③ 隣接市有地の利活用の考え方及び整備方法（図-1：赤点線内）
- ④ 市道 1672 号線（東西道路）及び市道 1668 号線の交通機能や空間整備の考え方

業務の対象は橋梁とトンネルの設計であるが、その範囲を超えた提案が要求されているのが特徴である。古墳の整備区域を図-2 に、主なスケジュールを表-1 に示す。

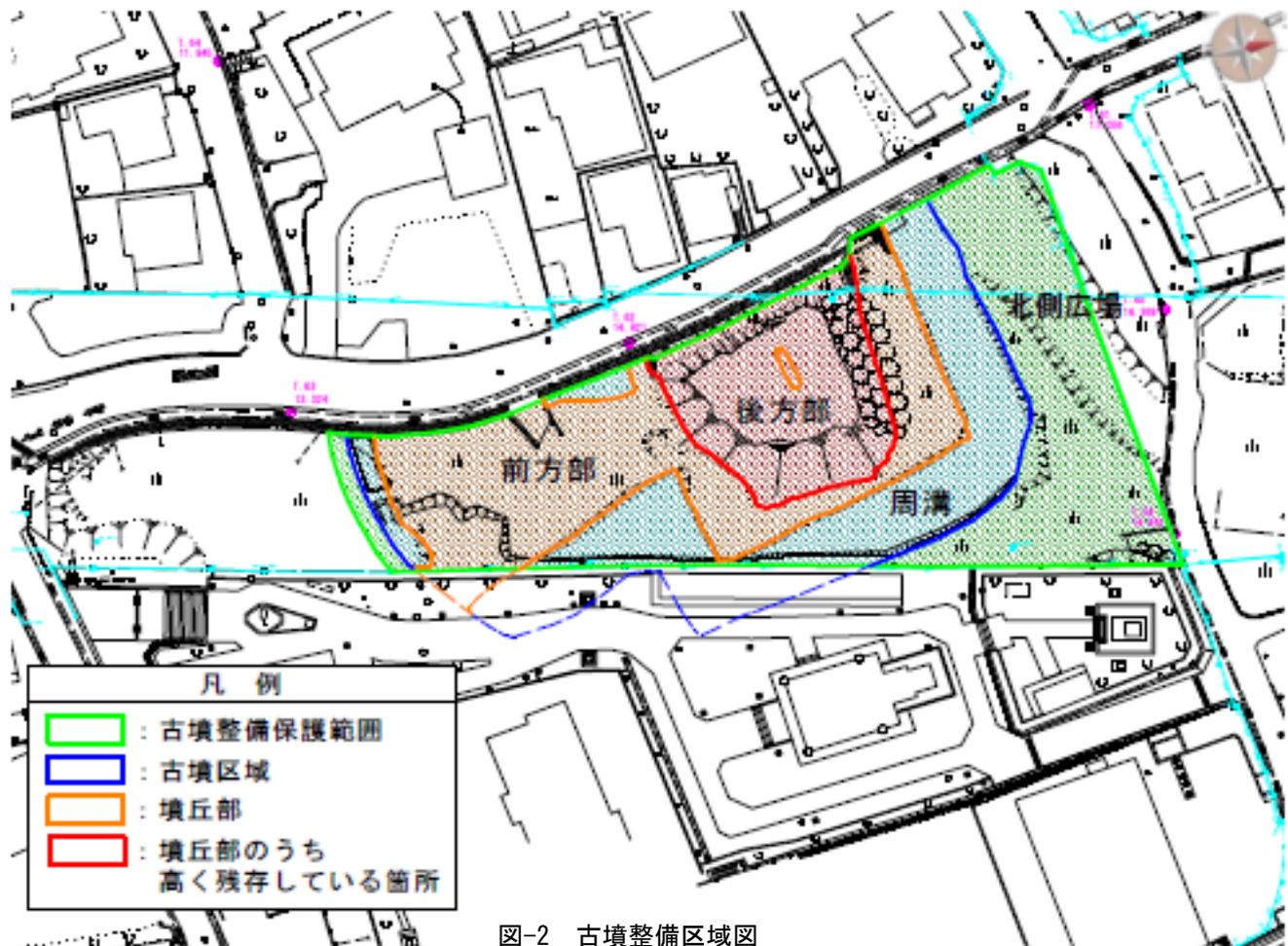


図-2 古墳整備区域図

おわりに

道路と史跡（古墳）の両立を目指すという極めて特殊な設計競技について紹介した。また、求められた内容も厳しいものであるためか、応募が少なかったのは残念ではあるが、ある意味で設計競技方式の特性が、最大限に活かされたケースであるように感じた。海外では当然のように実施される設計競技が、今後国内でどのように進化するのか、動向を見守っていききたい。

表-1 設計競技スケジュール

募集要項等の公表	令和元年	7月24日
設計競技説明会（古墳公開）	令和元年	8月7日
一次提案書受付期限	令和元年	10月7日
二次提案書受付期限	令和2年	1月31日
公開プレゼンテーション	令和2年	2月8日
最優秀提案の発表	令和2年	3月上旬